

<地域公共交通計画の評価等結果の様式>

安城市地域公共交通計画の評価等結果（令和6年4月～令和7年3月）

目標	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
公共交通全体の利用者数 (全体) 1,686万人 (鉄道) 1,520万人 (路線バス) 30万人 (あんくるバス ・あんくるタクシー) 56万人 (一般タクシー) 80万人 (レンタサイクル ・シェアサイクル) 0.6万人	①サービス水準に応じた運行 ②名鉄バス安城線の維持・活性化 ③名鉄バス岡崎・安城線の維持・活性化 ④あんくるバスのサービス改善 ⑤あんくるタクシーのサービス改善 ⑥一般タクシーの利用促進 ⑦レンタサイクル事業の見直し ⑧公共交通の利用促進策 ⑨(仮称)地域の交通を考える会の取り組み	事業者提供データ	・あんくるバス利用者数：583,478人 ・シェアサイクル利用回数：16,721人 (令和7年3月31日時点) ・各種施策の効果により、公共交通全体の利用者は順調に増加している。あんくるバス、レンタサイクル（シェアサイクル）においては、目標値を達成。 ※利用者数の詳細は別紙のとおり。	・これまでの施策を改善しながら継続実施する。 ・民間商業施設等と連携した利用促進を展開することで、より多くの利用者数の増加を図る。 ・一般タクシーについて、事業者や他部署と連携した活用方法を検討する。 ・小中学生夏休み無料キャンペーンなど、未成年にあんくるバスを知つてもらえる事業を実施することで、将来的な利用者の増加を促していく。 ・安心してバスを利用してもらえるよう、代車運行や工事による迂回運行等、SNSを活用した情報発信に努める。	
あんくるバス・あんくるタクシーの利用者1人当たりの市費負担 ※現況(646円)未満	安城市資料	・477円（令和7年3月31日時点） ・利用者の増加に伴い、1人あたりの市費負担額は減少し、目標値を達成。	・今後的人件費・物価高騰により、市負担額の増加が見込まれることから、利用促進策を引き続き実施するとともに、必要に応じて事業の効率化による事業費の削減や収入の増加等を検討し、目標達成状況を維持するように努める。		
「(仮称)地域の交通を考える会」の立ち上げ	安城市資料	・西部地域において立ち上がった「福金町コミュニティ交通検討会」による主体的な取組を継続支援とともに、地域を運行しているあんくるバス高棚線の利便性向上についての検討を進めた。	・計画目標である「(仮称)地域の交通を考える会」の自立的な運営に向け、モデル地区を継続的に支援するとともに、横展開を見据えた仕組みの構築を目指す。 ・地域が主体となった取組を、他地域に展開するため、継続的に出前講座等を活用して地域と関わり、公共交通に対する意識の醸成を図る。		

新規立ち上げ

(記載に当たっての留意事項)

- 本様式中、表題の「(〇年〇月～〇年〇月)」の部分には、評価等の対象となる期間を記入してください。
- 毎年度の評価になじまないような目標や、数年おきの評価を予定している目標については、「備考」の欄にその旨を明記の上、「目標」及び「備考」の欄以外は「-」と記載して下さい。
- 一つの目標と複数の取組が対応している場合や、複数の目標と一つの取組が対応している場合には、適宜欄を修正の上、記載を行ってください。
- 月ごとの利用者数の推移等の詳細データや、地域公共交通計画の評価等に係る協議会における議論の結果（議事録等）等の関連資料がある場合には、併せて添付して下さい。
- 地方公共団体・協議会等において独自に作成している評価等の様式が既にある場合や、地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価を行った報告様式がある場合には、参考資料として添付して下さい。